

臨床研究に関する公開情報

2023年8月30日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	当院における小児免疫性血小板減少症（ITP）に対する治療の現状についての検討:後視的コホート研究
対 象	2021年1月から2023年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて15歳未満で初発の免疫性血小板減少症と診断された患者さん。
研究期間	承認日から2025年3月31日までを予定しています。
研究目的	小児科領域におけるITPは自然寛解することも多く、治療目的は血小板数を増加させることではなく、治療関連の有害事象を最小限に抑えた上で重症出血を防止することとされています。小児ITP症例は年齢を含めて多様な患者背景を有しており、治療介入を決断する際には様々な要素を考慮に入れる必要があります。近年、小児ITPに対する治療ガイドラインが米国・日本で続けて改訂されており、それを踏まえて、当研究では当院における現行のITP治療法の適切性を詳細に評価し、その結果をもとに今後の診療の改善を図ることを目的としています。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、家族歴、生活歴、予防接種歴、内服歴）、病歴、身体所見、血液所見（CBC、白血球分画、幼若血小板数、肝腎機能、免疫検査、感染症検査）、治療内容、治療反応性・予後等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 小児血液・腫瘍内科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001 研究責任者：小児血液・腫瘍内科 岩井 篤